

一般質問の概要

平成 27 年第 4 回 二宮町議会定例会

○12 月 9 日（水）午前 9 時 30 分～

（桑原英俊、前田憲一郎、二宮節子、渡辺訓任、野地洋正 各議員）

○12 月 10 日（木）午前 9 時 30 分～

（一石洋子、露木佳代、根岸ゆき子、小笠原陶子 各議員）

※両日とも 2 番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

No	質問予定議員	質問概要
1	桑原英俊 議員	<p>北口駅前周辺の今後の本格整備と、安心・安全の交通混雑の解消について問う （放映件名：駅前周辺の今後の本格整備と交通混雑の解消）</p> <p>北口駅前広場周辺の暫定整備により、混雑の解消に効果がありました。しかしながら、駅利用者からは「安心して歩くことができない」「交通渋滞がまだある」というような意見もあります。この問題を解決するためには、北口駅前広場の本格整備や周辺道路の交通規制や町民への協力を求めるための方策が必要と考えます。</p> <p>今回の質問は、暫定整備後の検証と交通安全について及び、駅前広場本格整備に係る駅周辺公共施設の土地利用を含めた、今後の整備計画についてお伺いします。</p> <p>要旨 1. 現状の交通状況を見て、北口駅前広場周辺の交通の安全対策をどう考えているのか伺いたい。</p> <p>要旨 2. 北口駅前広場周辺の暫定整備後の交通混雑の解消についての検証とこれまでの進捗状況を伺いたい。</p> <p>要旨 3. 北口駅前広場周辺の暫定整備が終わり、本格整備を行うために今後どのような方向へ行くのか。今後どのような取り組みをしていくのか伺いたい。</p> <p>以上、3 件についてお伺いします。</p>
2	前田憲一郎 議員	<p>二宮町立小中学校の管理・運営について問う （放映件名：二宮町立小中学校の管理・運営について問う）</p> <p>いじめの実態に対する文科省が各都道府県に要請した調査の結果によると、2014 年度の発生件数は前年度より 2254 件の増となっている。7 月に岩手県でおきた事件に続いて、11 月には名古屋市で部活動内でのいじめを苦に中学 1 年生の男子生徒が自殺をするという痛ましい事件が再発した。京都市では小学生、高校生の兄弟による大麻吸引事件が発生した。また、大阪市でも、11 月上旬から中学 1 年生の 2 人組の男子生徒が高齢者宅にトイレを貸してくれと上がり込み、1 人がトイレを借りている間にもう 1 人が現金を盗むという事件が続いて起こった。学校側でも藤沢市の小学校の 4 年生担当教諭が算数の授業で不適切な語呂合わせの例を出すなど、児童生徒の問題行動や学校側の不祥事が後を絶たない現在において、学校運営の責任者である校長のもと、子どもや学校の抱える問題の解決、未来を担う子ども達の豊かな成長のためには、小学校区ごとのスクールガードリーダーやチーム学校、コミュニティスクール化により地域・社会総がかりでの教育の実現が不可欠です。二宮町立小中学校の管理・運営について次の 4 項目について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 27 年度 11 月現在のいじめ、不登校児童生徒の実態について。 2. 二宮町スクールガードリーダーの役割、任務について。 3. 国でだしているチーム学校についての検討はどのように進んでいるのか。 4. 全国的にも増加の傾向にあり、課題の解消に成果が上がっているとされている

		いるコミュニティスクール化についてのお考えはいかがか。
3	二宮節子 議員	<p>障がい者施策に対する町の考えを問う。 (放映件名：障がい者施策に対する町の考えを問う)</p> <p>「第4期二宮町障害福祉計画」が平成27年から始まり、ともに生きる二宮を目指している。障がい者福祉の法整備が変わる中、町が支援の充実をどのように進めるのか伺う。</p> <p>1. 「障害者差別解消法」 障がいを理由とする差別の解消を推進することによりすべての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指し、「障害者差別解消法」が平成28年4月1日施行されますが、障がい児向けの教育事業などを行う会社の調査によると全国小中学生の保護者・教員への法の趣旨の浸透が不十分な実態が示されました。町の対応は如何か、以下4点質問する。</p> <p>①指針はできているのか。 ②周知は、どのようにするのか。 ③留意しなければいけない障がい児や女性障がい者への考えは如何か。 ④合理的配慮は、どのように考えるか。</p> <p>2. 「障害者優先調達推進法」 景気の低迷で民間企業から障がい者施設への発注は全国的に不安定となり工賃も厳しい、こうした声を踏まえて、平成25年4月より障がい者施設からの商品購入を優先的に行うと、ともに、毎年度目標とその結果を公表するように定めている。町では、平成27年に調達方針が、発表されているが、取組みに対して3点伺う。</p> <p>①障がい者就労施設側への周知について。 ②町のすべての部局への周知について。 ③B型施設への対応。</p>
4	渡辺訓任 議員 (2件)	<p>高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画の進捗を問う (放映件名：高齢者保健福祉計画の進捗)</p> <p>今年3月に「二宮町保健福祉計画」および「第6期介護保険事業計画」が策定され、計画期間3年のうち、一年が経過しようとしている。平成29年度からは「介護予防・日常生活支援総合事業」が創設されることになるが、多様なサービスとは言うものの、要支援1・2の方々に対する訪問介護・通所介護の一部を地域支援事業に組み替えるということで、生活支援サービスの低下を心配する声が多い。平成29年度の新しい仕組みのスタートまで残すところ1年余りとなった現時点での計画の進捗状況について問う。</p> <p>1. 平成29年4月から「総合事業」を開始するにあたってのスケジュールおよび進捗状況は。 2. 居宅サービスで、サービス提供量の見込みが大きく変わるものは。訪問介護・訪問看護・通所看護など見込みどおりか。 3. 地域密着型サービスで、サービス提供量の見込みが大きく変わるものは。認知症対応型介護についてはどうか。 4. 介護老人福祉施設、介護老人保健施設について待機者の状況はどうか。 5. 介護人材について二宮町での状況。 6. 在宅介護・医療について体制づくりの状況と今後の見通しは。</p>

		<p>地方創生総合戦略と“ワーク・ライフ・バランス” (放映件名：総合戦略とワーク・ライフ・バランス)</p> <p>現在はパブリックコメントを求める素案の策定段階であるが、地方創生に向けた「二宮町総合戦略」の中で、町でのワーク・ライフ・バランスが取り上げられている。「母親の就業継続、就業支援と合わせて、長時間労働といった男性の働き方の改善」を通して、子育てと仕事の両立を推進することは、生活の質・満足度を高めることになる。子育て世代に対しても大きな励みになり、町施策の中で重要な位置を占める。働く環境を二宮町全体で整えることに関する町の役割について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二宮町役場およびシルバー人材センター、社会福祉協議会など関連団体での非正規・臨時などを含めた就業者数はどのくらいになるか。また、正規・非正規等雇用形態で見た場合の割合はどのようになっているか。同様に、二宮町全体での就業形態はどのようになっているか。 2. 正規・非正規雇用の中で労働時間を含めた働き方の実態に違いはあるのか。 3. 行革方針で部課班の削減をうたっているが、このことと総合戦略でうたう働き方の改善をどう両立させていくのか。 4. 公契約条例の導入について、どのように考えられているか。 5. 子育て支援の充実については、大胆な施策が求められると考えるが、具体的な施策についてはいかがか。
5	野地洋正 議員	<p>公職選挙法改正により18歳以上に引き下げられた選挙権の周知啓発、および教育についていかに取り組むか (放映件名：18歳以上の選挙権に対する取り組みは)</p> <p>本年6月に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が18歳以上へと引き下げられた。70年ぶりとなる大きな改正により、全国では約240万人、二宮町でも500人以上の未成年者が来年夏の参議院議員選挙から新たな一票を投じられることとなる。国、県も然りだが、一番身近な二宮のまちづくりにとっても大きな係わりを持つようになる。3年後予定される町長、町議会議員選挙においては、現在の中学3年生はその対象となり「人と暮らし、文化を育む自然が豊かな町」を築き上げるために、若い方々の意見が選挙をとおしても町政に反映できるようにする。その権利は極めて重要であり、また行使しなければならないと考える。町は啓発活動、環境の整備、教育の充実を図るべきだと思うがいかに取り組むか問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 模擬選挙、議場見学・傍聴等を含めた啓発活動への取り組みについて 2. 学校教育における小・中学校での取り組み、および二宮高校との連携について 3. 子ども議会、ワークショップ等社会教育としての取り組みについて

6	一石洋子 議員	<p>二宮町に子供を中心に据えた独自の縁側事業を (放映件名：子供を中心に据えた独自の縁側事業を)</p> <p>①二宮町は長寿の町として知られている。健康を育む風土と人間文化が資産といえる。是非とも健やかな子供を育む町としても名をあげたいものだ。子供たちの成長環境の悪化が言われて久しいが、今、さらに貧困による格差が社会問題となっている。町では社会福祉協議会が、すでに取り組みのある地域集会施設を使ったデイサービスに加えサロン事業を始めている。しかし対象は主に高齢者に設定され、頻度が少ない。空き店舗、空き家の地域の交流場所としての展開も注目されている。子どもたちを中心に据えた食と交流をテーマとする世代横断的な二宮独自の居場所づくりについて、町の考えを問う</p> <p>②神奈川県は小学校始業前に小学校等の施設を利用し、町の子供たちの安心安全な居場所づくりを推進するための「朝の子供の居場所づくり」の平成28年からのモデル事業として大磯町を選出した。大磯町は児童の健全育成、仕事と子育ての両立支援等を推進するとある。二宮町も朝の子育て支援として独自の取り組みができないか。</p> <p>③貧困による子供たちの格差が広がっている。二宮町はどの様に対処するのか。</p> <p>④日本各地で大学生が町づくり、特に居場所づくりや学習支援に関わる事例が増えている。二宮町にも若い力と発想力を活かす取り組みをしてほしい。若い人達にとっても机上では出来ない社会と関わる学びの機会となるに違いない。居場所作りにおける大学との連携について町の考えを問う。</p>
7	露木佳代 議員	<p>町立保育園の現状と改善および待機児童対策を問う (放映件名：町立保育園の現状と待機児童対策を問う)</p> <p>町は、今年度の施政方針で「子育て世代に選ばれる、安心して子育てできる、住みたい・住み続けたい、未来に繋げるまちづくり」を目指す旨を明言しているが、町内の保育園、保育施設をどう考えているのか、今後の見通し・計画を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の重点施策「病後児保育の検討」について ・これまで待機児童数はゼロであったが、平成27年度は10名となった。来年度以降、保育を必要とする子を見込みとその対策は？ ・老朽化等さまざまな問題がある町立百合が丘保育園は、その重要度、緊急度から公共施設の統廃合の中で検討すべきではないと考える。子育て世代に選ばれる町を掲げる二宮としてどう考えているか。また種々の改善点をどうとらえ、対策を考えているのか。
8	根岸ゆき子 議員	<p>墓地条例の制定を求める (放映件名：墓地条例の制定を求める)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成26年6月議会に同様の通告で一般質問している。その後、仮に町が墓地条例を制定する場合はどのようなことが想定されるかという検討をしてきたと思うが、その内容について伺う。 2. 緑が丘住民からは、住宅隣接地に墓地霊園の建設がされることに対して村田町長はどのような考えを持つものか知りたい、との声を聞く。墓地条例制定に対する町長の考えを述べてほしい。

9	<p>小笠原陶子 議員</p>	<p>百合が丘でだれもが快適に暮らし続けるための対策について。 (放映件名：百合が丘で快適に暮らし続けるための対策は)</p> <p>①百合が丘の中には4つの自治会がある。 全体に高齢化は顕著だが、特に神奈川県供給公社の集合住宅と県営住宅には高齢者が集中しているし空き家も増え続けている。 このことは二宮町の人口問題に大きな影響を与えている。 住民福祉について地域住民は新たに百合が丘地域福祉協議会を立ち上げ自治で対応できるところを模索している。 耐震診断や空家対策等、又、集合住宅の助けあいのしくみ作り等課題解決のため、町の果たす役割を問う。</p> <p>②二宮町は県供給公社と緑地移管について交渉しているがその進捗状況を伺う。</p>
---	---------------------	--